

堺市高齢者等実態調査報告書 (概要版)

平成 26 年 3 月

本市では、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らしていただくことができるよう、「堺市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、取組みを推進しているところです。

このたび、高齢者の方の生活状況や保健・福祉に関するニーズを把握し、今後の高齢者保健福祉行政のより一層の計画的かつ効果的な推進と、次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画（平成 27～29 年度）策定の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

I 調査の概要

1. 調査の種類と対象者

調査の種類	対象者
一般高齢者調査	平成 25 年 10 月末日現在で要介護等認定を受けていない、在宅の 65 歳以上の方 4,100 名を無作為に抽出
介護保険サービス利用者調査	平成 25 年 10 月末日現在で要介護等認定を受けていて、同年 8 月に介護保険サービス・介護予防サービスを利用された方（施設サービスを除く）6,800 名を無作為に抽出
介護保険サービス未利用者調査	平成 25 年 10 月末日現在で要介護等認定を受けているが、同年 8 月に介護保険サービス・介護予防サービスのいずれも利用されなかった方 2,800 名を無作為に抽出
介護事業者調査	平成 25 年 10 月末日現在で、堺市の指定を受けた介護保険事業所を市内に保有している 738 法人を悉皆調査

2. 調査期間 平成 25 年 12 月中旬～平成 26 年 1 月中旬（郵送による配布・回収）

3. 回収状況

	配 布 数	有効回収数	有効回収率
一般高齢者調査	4,100 通	2,822 通	68.8%
介護保険サービス利用者調査	6,800 通	3,878 通	57.0%
介護保険サービス未利用者調査	2,800 通	1,565 通	55.9%
介護事業者調査	738 通	410 通	55.6%

4. 調査結果の見方

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示しています。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方をしているため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

II 調査結果の概要

1. 回答者の基本属性

単位：％

区分	有効回答数 (件)	性別			年齢							世帯状況					
		男性	女性	無回答	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳以上	無回答	ひとり暮らし	夫婦ふたり暮らし	と子や孫との同居	夫婦（または本人のみ）と親、兄弟などの同居	夫婦（または本人のみ）その他	無回答
一般高齢者調査	2822	28.1	68.5	3.4	28.3	28.3	20.7	12.0	6.0	2.7	2.1	21.8	35.6	28.4	2.0	6.6	5.7
利用者調査	3878	18.2	79.0	2.8	5.9	12.5	18.7	25.8	22.6	12.2	2.3	41.2	16.3	24.6	1.3	9.3	7.2
未利用者調査	1565	15.3	80.4	4.2	5.8	11.9	19.9	25.8	19.9	12.7	4.1	26.8	24.2	27.4	1.0	12.4	8.2

区分	有効回答数 (件)	要介護度								
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	無回答
利用者調査	3878	29.3	22.8	12.0	13.5	6.9	4.9	3.6	0.7	6.3
未利用者調査	1565	40.2	16.0	7.7	7.7	4.1	4.2	5.8	2.2	12.1

2. 健康について

〔健康のため心がけていること（一般高齢者調査）〕（複数回答）

「食事に気をつける」や「休養や睡眠を十分にとる」の割合が全体的に高くなっているほか、健康状態が比較的良好と感じている人は「体を動かす」こと、比較的良好と感じていない人は「身の回りのことはなるべく自分で行う」ことを心がけている人が多い傾向にあります。

単位：％

健康状態	健康のため心がける	有効回答数 (件)	休養や睡眠を十分にとる	食事に気をつける	歯や口の中を清潔に保つ	健康診断などを定期的に受ける	酒を控える	タバコを控える	散歩やスポーツなど体を動かす	地域の活動に参加する
良い／まあ良い		2228	47.8	53.3	20.1	25.8	2.3	1.3	31.1	3.6
あまり良くない／良くない		500	40.4	46.0	26.0	28.2	3.2	3.2	14.6	4.0

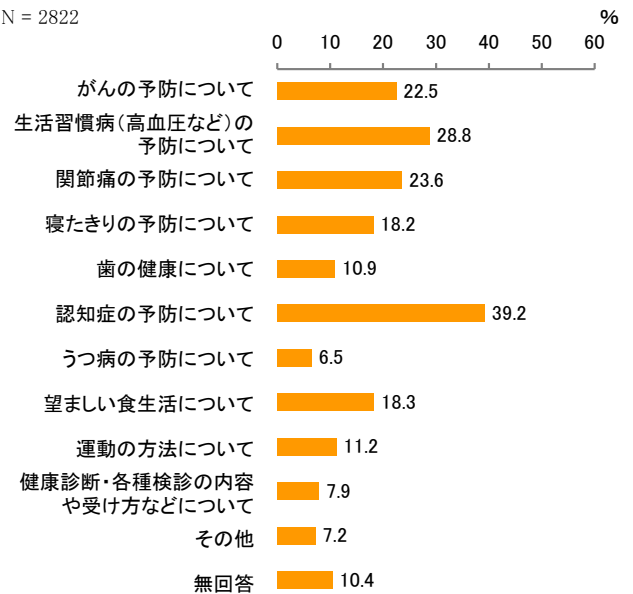
健康状態	健康のため心がける	楽しみを持つ	友人など人と交流する	気持ちよく明るく持つ	身の回りのことはなるべく自分で行う	仕事をする	その他	特に心がけていない	無回答
良い／まあ良い		21.5	19.7	13.1	22.9	7.2	0.6	1.9	1.1
あまり良くない／良くない		10.2	12.2	20.2	41.4	4.2	1.2	3.0	0.6

3. 認知症について

[健康について知りたいこと（一般高齢者調査）]（複数回答）

「認知症の予防」が39.2%と、認知症への関心が特に高いことがうかがえます。

N = 2822

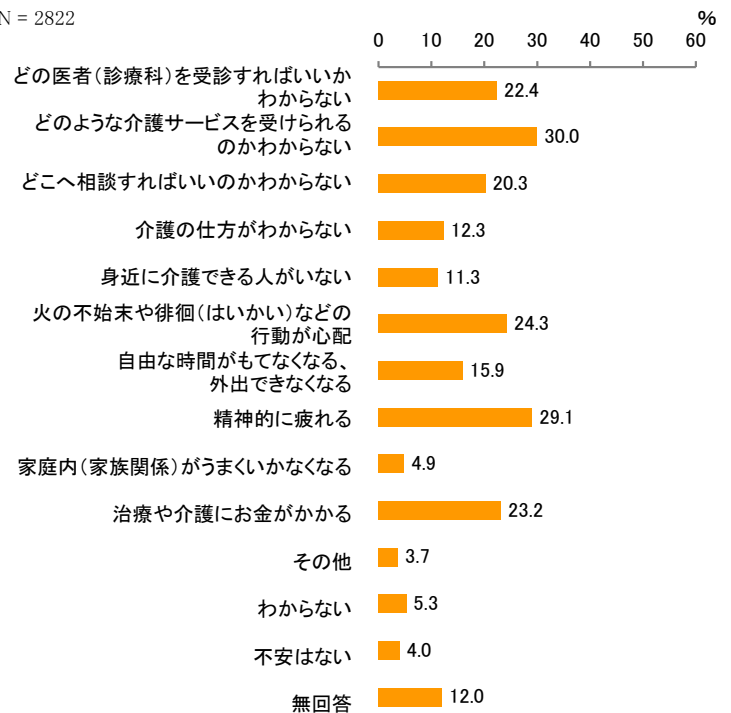


[もし家族が認知症になった場合不安に思うこと（一般高齢者調査）]（複数回答）

「どのような介護サービスを受けられるのかわからない」、「どの医者（診療科）を受診すればいいかわからない」、「どこへ相談すればいいのかわからない」など、どこで、どのような医療や介護保険サービスなどが受けられるのかわからないという回答が多くみられます。

また、「精神的に疲れる」、「火の不始末や徘徊などの行動が心配」、「治療や介護にお金がかかる」など、認知症に対する理解不足やネガティブなイメージも一部うかがえます。

N = 2822

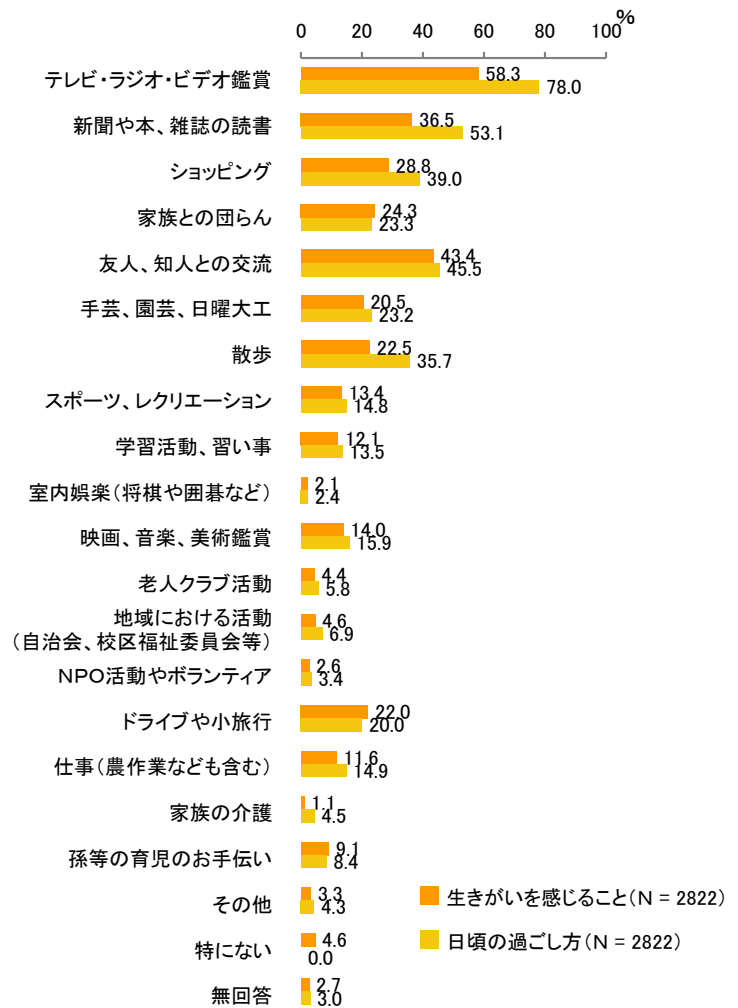


4. 日中活動や生きがいづくりについて

[日頃の過ごし方と生きがい（一般高齢者調査）]（複数回答）

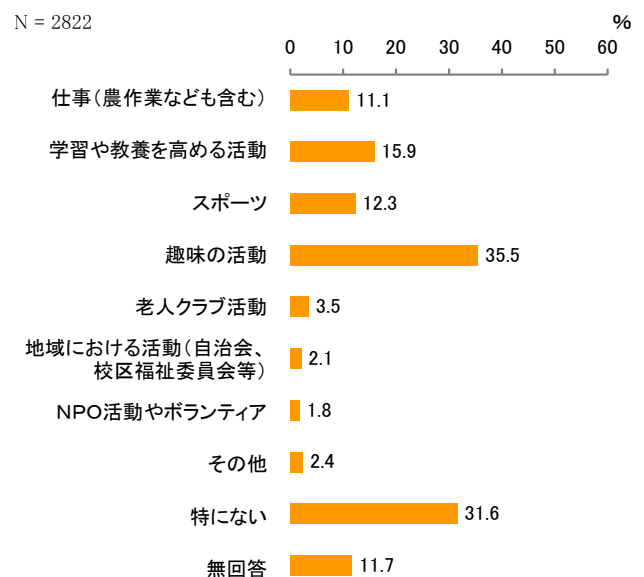
「テレビ・ラジオ・ビデオ鑑賞」や「新聞や本、雑誌の読書」の割合が高く、自宅で過ごす楽しみが多くみられます。また、「友人、知人との交流」も多い結果となっています。

なお、「テレビ・ラジオ・ビデオ鑑賞」や「新聞や本、雑誌の読書」などは日頃の過ごし方に比べて生きがい（喜びや楽しみ）を感じている人の割合が10ポイント以上低くなっている一方で、「友人、知人との交流」などは同程度となっています。



[今後やってみたいこと（一般高齢者調査）]（複数回答）

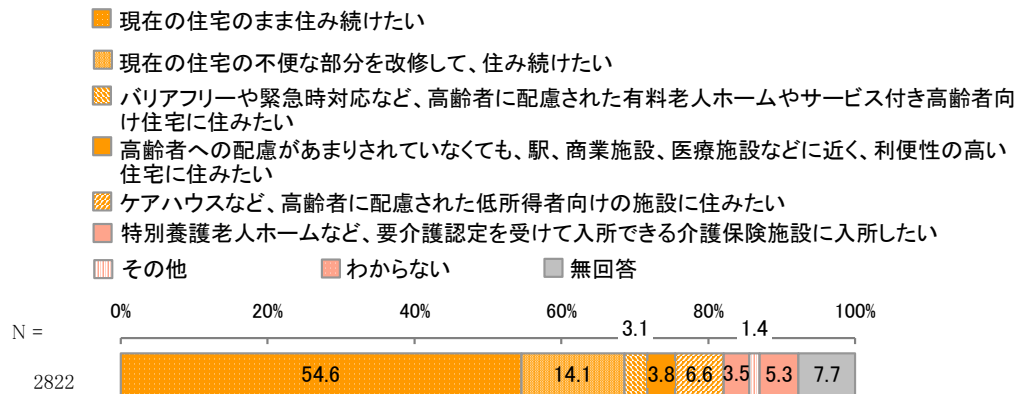
「趣味の活動」が35.5%と最も高い一方で、「特にない」との回答が31.6%もみられます。高齢者の社会参加は生きがいや健康づくりにもつながることから、高齢者の社会参加に対する意欲の向上が求められることがうかがえます。



5. 在宅生活への希望について

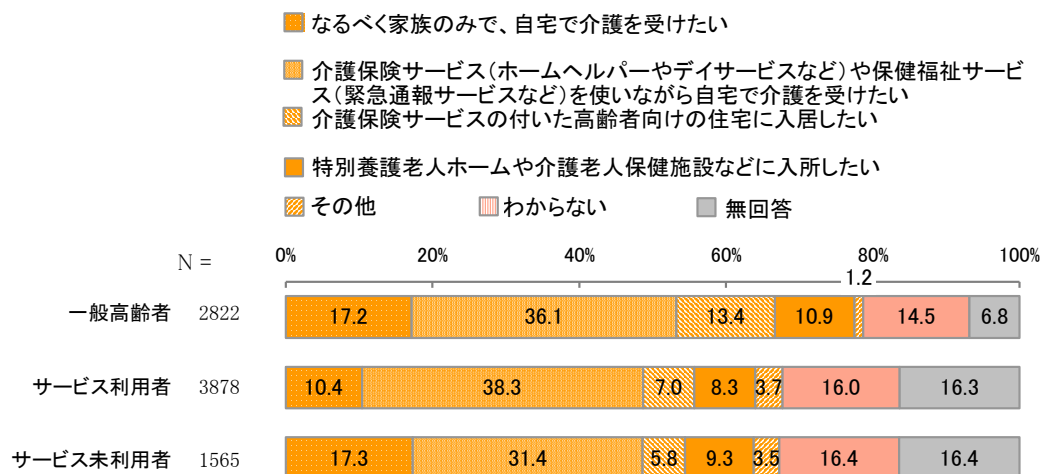
[将来暮らしたい住宅（一般高齢者調査）]（単数回答）

「現在の住宅のまま住みたい」、「現在の住宅の不便な部分を改修して、住みたい」を合わせると、約7割の人が現在の住宅で住み続けることを望んでいます。



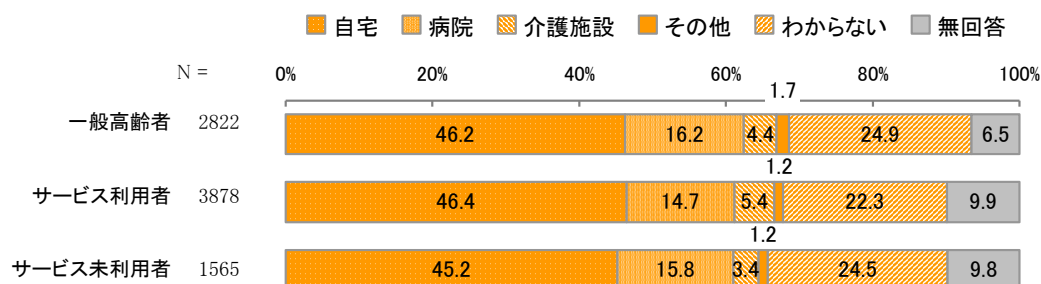
[介護に対する意向（一般高齢者調査、サービス利用者調査、サービス未利用者調査）]（単数回答）

「なるべく家族のみで、自宅で介護を受けたい」、「介護保険サービスや保健福祉サービスを使いながら自宅で介護を受けたい」を合わせると、いずれも約半数の人が在宅での介護生活を希望しています。



[人生の最期を迎えたい場所（一般高齢者調査、サービス利用者調査、サービス未利用者調査）]（単数回答）

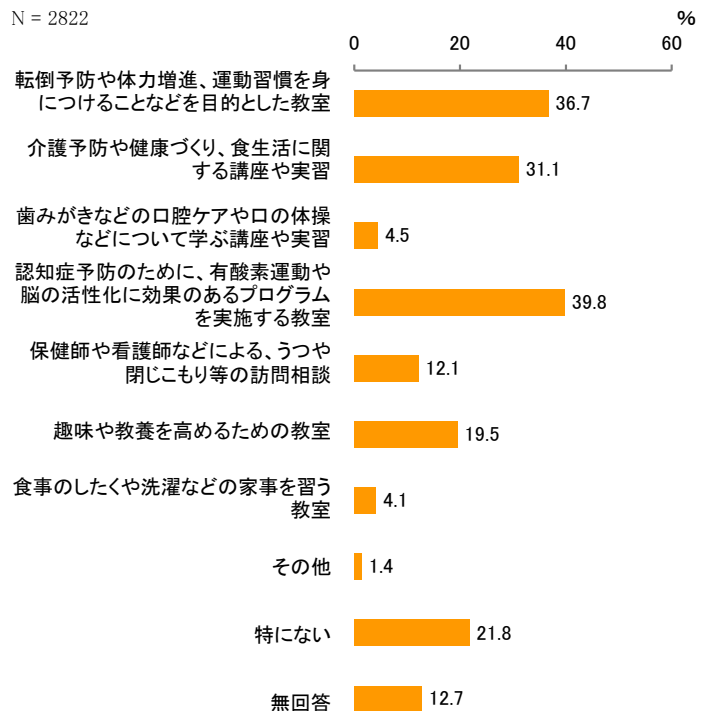
いずれも「自宅」が半数近くを占め、「病院」についても約15%となっている一方で、「わからない」が約25%を占めています。



6. 介護予防について

[介護予防を支援するサービスの利用意向（一般高齢者調査）]（複数回答）

「認知症予防に関する教室」や「転倒予防や体力増進、運動習慣のための教室」などの利用意向が高くなっています。



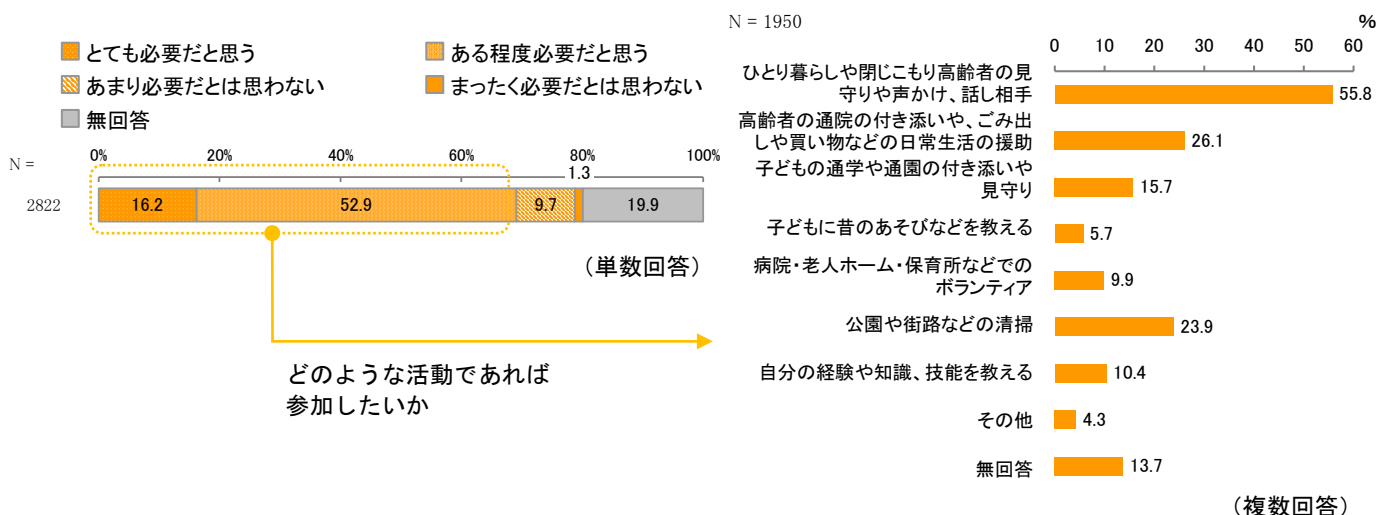
7. 住み慣れた地域で暮らし続けることについて

[住民相互の自主的な支えあいや助けあい（一般高齢者調査）]

「とても必要だと思う」「ある程度必要だと思う」を合わせて約7割の人が住民相互の支えあいや助けあいの必要性を感じています。

また、必要と感じている人に対して、どのような活動であれば参加したいかについてたずねたところ、「ひとり暮らしや閉じこもり高齢者の見守りや声かけ、話し相手」の割合が最も高く、ゆるやかな活動への参加意向が高いことがうかがえます。

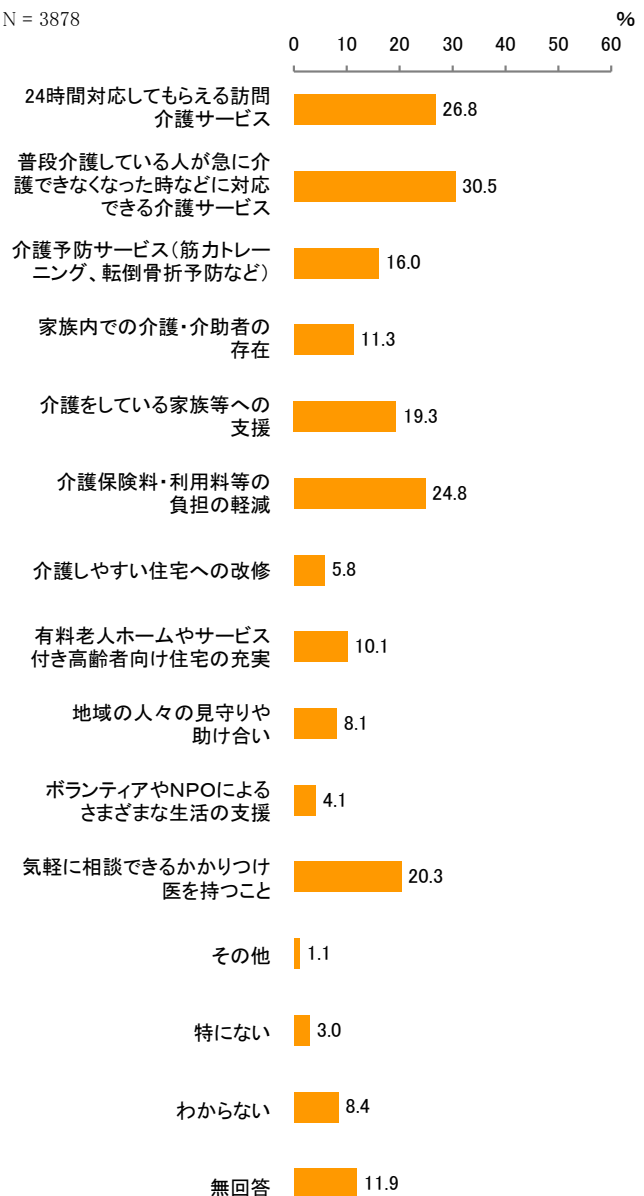
一方、「高齢者の通院の付き添いや、ごみ出しや買い物などの日常生活の援助」が約25%と、日常生活により踏み込んだ支援に対して参加意向を示している人もいることから、こうした人々が生活支援の担い手となる可能性が期待できます。



[自宅や住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこと（サービス利用者調査）]（複数回答）

「普段介護している人が急に介護できなくなった時などに対応できる介護サービス」、「24 時間対応してもらえる訪問介護サービス」、「介護保険料・利用料等の負担の軽減」が上位となっています。このほか、「気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと」や「介護をしている家族等への支援」も他と比較して多くみられます。

N = 3878



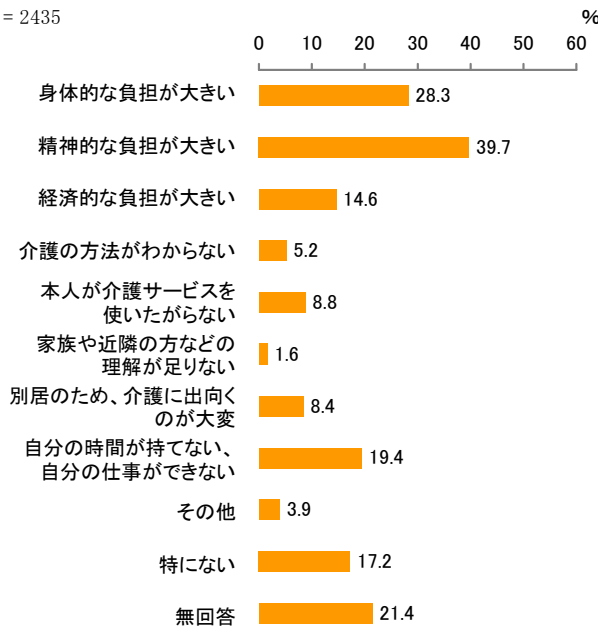
8. 介護者について

[介護するうえで困っていること（サービス利用者調査、サービス未利用者調査）]（複数回答）

いずれも「精神的な負担が大きい」「身体的な負担が大きい」「自分の時間が持てない、自分の仕事ができない」が上位となっています。

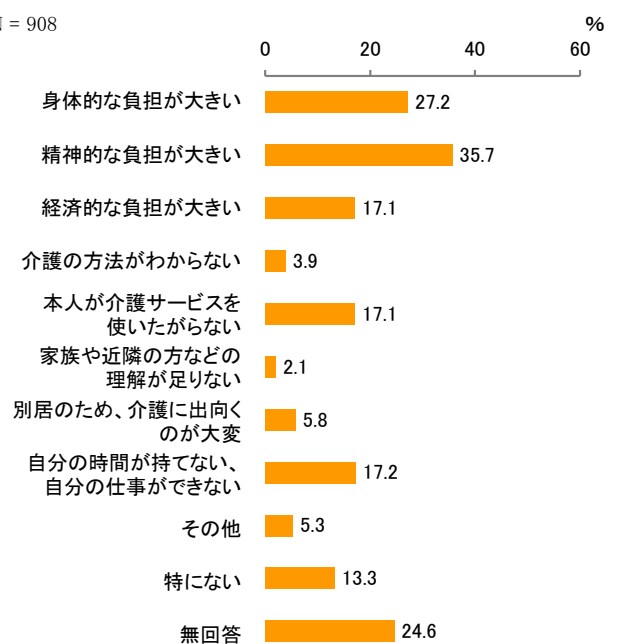
サービス利用者

N = 2435



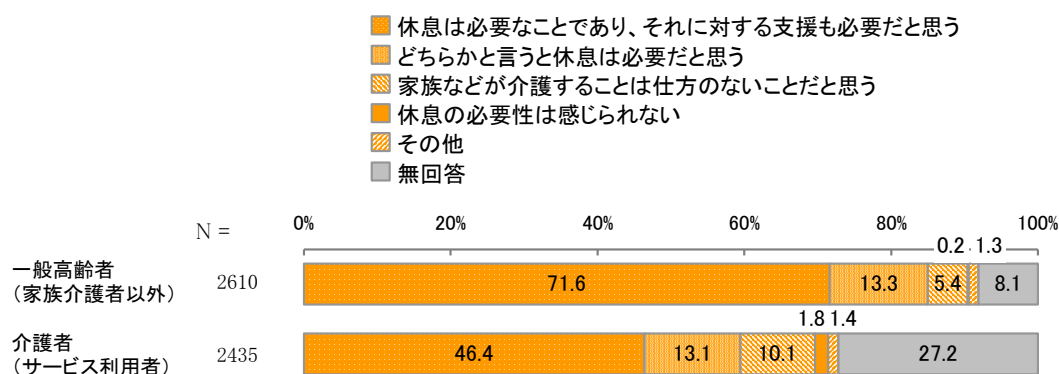
サービス未利用者

N = 908



[介護者の休息（レスパイト）に対する理解（一般高齢者調査、サービス利用者調査）]（単数回答）

「休息は必要なことであり、それに対する支援も必要だと思う」が一般高齢者は 71.6%であるのに対し、介護者は 46.4%と低く、介護者の休息に対する認識に差がみられます。



堺市高齢者等実態調査報告書（概要版）



平成26年3月 発行

編集・発行 堺市 健康福祉局 長寿社会部

高齢施策推進課

介護保険課

介護事業者課

TEL : 072 (228) 8347

TEL : 072 (228) 7513

TEL : 072 (275) 6235

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

堺市行政資料番号 1-F4-14-O104